

# 「終活案内人育てる」

終活カウンセラー

受講者数が増加

(社)終活カウンセラー協会(東京都品川区)は終活に関する講座を開催している。講座後に実施される試験に合格すれば、「終活カウンセラー」という資格が与えられる。3年前に同協会を立ち上げた武藤頼胡代表理事に取り組みについて話を聞いた。



(社)終活カウンセラー協会  
武藤頼胡代表理事

「終活カウンセラー」の果たす役割とは。

武藤 終活について悩んでいる人の話を聞き、それがどの分野に位置づくのか、またどのような専門職に繋ぐべきなのかを見極めるいわゆる「案内人」のことです。相続や葬儀など一つ一つの専門的な知識は必要はなく、広く浅く知っておくことが大切です。

——武藤代表理事が考える「終活」とは。

武藤 生きがいを持って人生を送り、個性ある命で一人ひとりがこの世に何らかの形で生きてきた証を残すことが今後の社会において必要なことだと思います。終活をするほどの人は「家族に迷惑をかけたくないから」との理由で相談にきます。その気持ちに向き合っていかななくてはいけません。

んが、そのような気持ちを抱くことは、言い換えれば、家族への「愛情」を意味しているのではないのでしょうか。

——どのような人が講座を受講しますか。

武藤 士業などの専門職もいますが、割合として多いのは終活を始めようとしている当事者の方です。この講座は終活の全体像について知ることが出来る良い機会だと思います。カウンセラー講座の本来の目的は、単に資格取得をするためのだけのものではありません。最終目標は「終活」からアプローチして、誰もが生きがいを持てる社会を作っていくことが目的です。生きがいをもつきっかけを与えられる人を輩出します。

——資格はどのように活かせるか。

武藤 講座を始めた2011年以降、資格



▲講座を受講し、試験に合格すると、資格取得ができる

取得者は毎年増加しており、ここ1年で5000人増加しました。講座を受けて自分の終活に活かしている人もいれば、カウンセラーとして活動している人もいます。ホームページで公式のカウンセラーが検索できるよになっています。資格者を輩出していくと同時に、生きがいをもつきっかけを提供できる人材を今後も輩出していきたいと思えます。